

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成27年8月6日（木）午後6時 ～ 7時30分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター内男女共同参画センター学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：安島イツ子、林喜代三、原田美智子、池谷光二、竹嶋栄一、吉田邦子 欠席者：多和伸晃、豊泉良、福岡祐子、水上玲子 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	第1回男女共同参画推進市民委員会の会議録について
議 題	1 第二次男女共同参画計画平成26年度推進状況調査報告書について 2 男女共同参画インタビューについて 3 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	1 第二次男女共同参画計画平成26年度推進状況調査報告書について 平成22年度からの全体の推進状況及び第三次計画で重点事業に定められている事業の、26年度における推進状況について意見を抽出した。内容については事務局でまとめる。 2 男女共同参画インタビューについて 市民委員会の委員や各団体を対象としてシンポジウムを開催する。また、シンポジウムはデエダラまつりで広報する。 デエダラまつりで市民への意識啓発としてアンケート等を実施し、集計結果を市民委員会の活動報告として市民に発信していく。 3 その他 第2回委員会は平成27年9月17日（木）午後6時から開催する。 開催場所については事務局から改めて通知する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） ◎印：委員長 ●印：委員 □印：事務局	議題1 第二次男女共同参画計画平成26年度推進状況調査報告書について ● 第三次計画で統合や再編となっている事業は、要するに廃止ということか。全体的にD評価の事業が多いが、D評価の事業の多くは統合・再編になっており、推進できないから廃止しているように見える。 □ 統合・再編は、事業を廃止にして一切推進しないということではない。単独の事業として位置付ける意義の乏しい事業や、単独の事業のままでは推進されにくい事業を、他の事業と統合して、形を変えて推進していくという主旨である。 ● 市職員の採用において、年齢制限の撤廃は難しいとなっているが、なぜできないのか。 □ 年齢制限を撤廃すると、各年代の職員数を均等に保てなくなってしまう可能性がある。年齢の引上げはできるかもしれないが、撤廃は困難である。 ● 年齢制限を設けると、子育てをしながら再就職を希望する人が採用試験を受けられないのではないか。30歳という上限は、子育てをしてい

る世代にとって門が狭いように感じる。

- 市職員の採用に関するだけでなく、子育て世代への再就職支援の充実が必要だ。
- 男性職員の育休取得実績がゼロであることから、子育ては女性がするという考えを持つ人が未だに多いのではないか。
- 市内小中学校へのALTの配置は、東京都が行っている事業ではないか。
- 東京都が掲げている事業だが、実施を決定しているのは市である。
- 相談事業において、市での実績が無いから需要が無いわけではないだろう。仕事等の都合により開設時間内に来られない人は、東京都の相談窓口等を利用しているかもしれない。
- 相談窓口は、いざという時に必要であり、需要が無いからといって辞めるべきものではない。
- 昨年度の市民委員会からの意見がどのように反映されたのかが示されたのは良かった。

議題2 平成27年度年間スケジュールについて

- 前回の会議では、活動テーマは決まったが、活動内容は決まっていなかったはずである。インタビューやアンケートを実施するというのはあくまで事務局案であり、シンポジウムの開催という案もあったので、改めて議論していただきたい。
- シンポジウムの開催は困難であるので、委員がそれぞれの所属団体から情報収集をして、委員会内で情報共有や意見交換をしてはどうかという意見があったと記憶している。
- 市民委員会の活動を報告する場を設け、集まった市民の勉強会としてシンポジウムを開催してはどうか。
- 次年度の委員会の活動に活かせるような事業を実施した方が、意義があるのではないか。
- ◎ 委員のための勉強会を開催し、それに市民を呼ぶという形であれば開催は可能ではないか。
- 自分たちの市の現状に興味を持っている人もいると思うので、市の女性管理職をゲストに呼ぶなどしてはどうか。
- デエダラまつりでのアンケートの必要性が疑問である。集計結果の明確な利用方法がないように感じる。シンポジウムを開催するのなら、デエダラまつりでその広報をしてはどうか。
- ◎ シンポジウムの広報とアンケートを両方やればいいのではないか。アンケートは集計し、情報誌YOU・I等で委員会からの報告として発信すれば良いと思う。
- シンポジウムのテーマを決め、そのテーマに沿ったアンケートを実施したら良いのではないか。
- ◎ 次回の会議では、シンポジウムのテーマ、アンケートの内容、デエダラまつりで配布する啓発物品の選定について協議するという事で良いか。

-異議なし-

その他

	◎ 第3回委員会は、平成27年9月17日（木）午後6時から開催するものとする。場所については事務局から改めて通知する。
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： 0 人
-----------------	---	----------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)